

東洋リコー株式会社

中西孝雄 × タージン



代表取締役 中西孝雄

大学卒業後、祖父が創業した家業である東洋リコー(株)に入社。工業用パッキンなどの製造技術とノウハウを学んだ。その後、2代目の社長であった父の後を継ぎ、2009年に代表取締役に就任。自社の技術力と斬新な発想力を武器に、新たな製品開発にも注力している。

タージン 大阪府で工業用パッキンなどの製造を行う東洋リコーさん。中西社長のおじいさまが1952年に創業した会社だそうですね。
中西 はい。私は家業を継ぐつもりはなかったんです。しかし、私が大学を卒業したのが就職氷河期の時代で、なかなか就職先が見つかりませんでした。その頃、弊社に勤めていた職人が定年退職することになり、2代目である父に誘われて入社したんです。
タージン 中西社長が3代目に就任したきっかけを教えてください。
中西 2009年、私が28歳のときに突然、父が他界してしまっただけです。そこで私が後を継ぎました。父の死は本当に急で、私は経営について教えることができなかったんです。また、リーマン・ショックや東日本大震災などの影響によって、製造業界全体が不景気に陥り、同業

者との競争は激しくなるばかりでした。そうした困難を、私たちは社員、そして家族が丸となって乗り越えてきました。
タージン 3代目として後を継いでから、大変な苦労をなさってきたわけですか。
中西 そうですね。でも現在、おかげさまで弊社の業績は順調に伸びています。それは、あの困難な時期を乗り越えたからこそでしょうね。
タージン その貴重な経験が、経営の糧となっているんですね。それでは東洋リコーさんの製品について、詳しく教えてください。
中西 弊社の代表的な製品は、配管やポンプの液漏れを防いだり、密閉したりするための工業用シール材で、全国の発電所や製鉄所、ダムなどで使われています。弊社の製品はどれも専門性が高く、素材も寸法も異なるものばかりなんです。その用途に

応じて、すべてオーダーメイドで製造しています。
タージン 創業以来培ってきた技術力や知識があるからこそ、難しい依頼もこなせるのでしょうかね。
中西 ありがとうございます。ただ、私自身は、弊社を「新興のベンチャー企業」だと思っているんです。自社の技術力を活かせば、例えばスマートフォン内部に組み込む部品など、多様な製品もつくれると考えているからです。ですから今後、新たな製品づくりに積極的にチャレンジしたいですね。
タージン その姿勢は素晴らしいですね。そんな中西社長が求める人材について、ぜひ教えてください。
中西 製造業にも生みの苦しみはあります。でも、その達成感を味わえる素晴らしい仕事です。だからこそ自分で考えて行動できる人材に来ていただきたいですね。

技術と発想力を併せ持つ 工業用パッキンの製造



〒556-0020
大阪府大阪市浪速区立葉2-2-15
[TEL] 06-6561-6388
[ホームページ]
<http://toyo-ricoh.co.jp/>



タレント タージン

大学時代に『お笑いスター誕生!!』で7週を勝ち抜き銀賞を獲得した他、『素人名人会』への出演などで全国区となる。『おはよう朝日です』のリポーターで本格的に芸能界デビュー。以降、「関西No.1リポーター」「ロケの神様」として活躍している。大のアメフト好き。